

事例報告： 千葉大学における機関リポジトリの 役割

千葉大学附属図書館 利用支援企画課
(オープンアクセス委員会委員・JPCOAR運営委員)

高橋菜奈子

千葉大学附属図書館概要

- 学部(10学部)
国際教養,文,法政経,教育,理,
工,園芸,医,薬,看護
- 大学院(7研究科・学府／6研究院)
人文公共学府,専門法務,教育学,
融合理工学府,園芸学,医学薬学府,
看護学／人文科学,社会科学,
理学,工学,医学,薬学
- 構成員数
 - 学生数:約11,000人
 - 大学院生数:約3,500人
 - 教職員数:約3,400人
- 蔵書数
 - 図書:140万冊
 - 雑誌:25,000タイトル
 - 電子ジャーナル:23,000タイトル
- アカデミック・リンクのコンセプトに基づき
活動を展開



本館

全学の幅広い
サービスを行う
図書館。
学部1-2年生は
全学部対象。



亥鼻分館

医薬看護分野
の蔵書を中心
とした図書館。



松戸分館

園芸学分野の
蔵書を中心とし
た図書館。

千葉大学学術成果リポジトリ(CURATOR)



平成14~16年度
(2002~2004)

- プロトタイプシステム開発(H14)
- 試験運用開始(H15)
- 学内教員による「学術情報発信専門委員会」設置
- 「千葉大学学術成果リポジトリ運用指針」制定
- 学内合意成立(H17.2)
- 運用開始(H17.3)

平成17年7月
国内初！
機関リポジトリの誕生

• **正式公開(H17.7)**

平成17~24年度
(2005~2012)

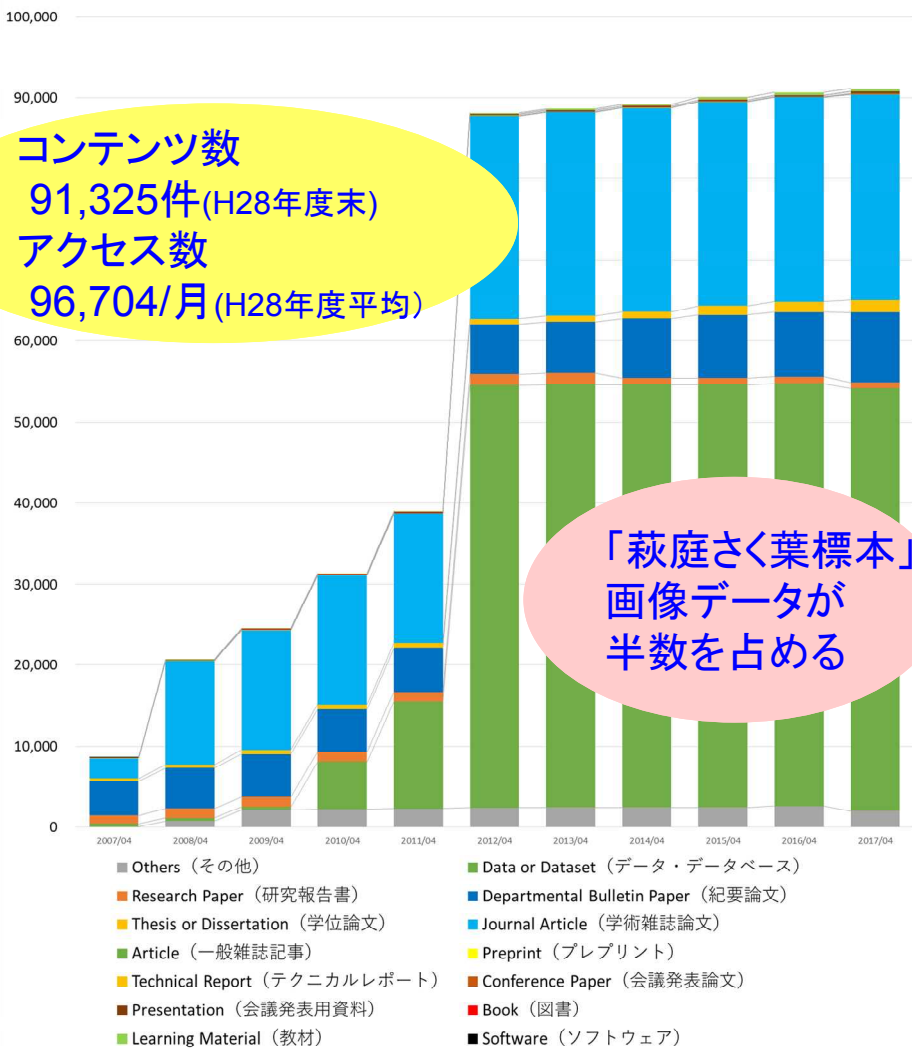
- 国立情報学研究所最先端学術情報基盤(**CSI**)委託事業を受け、システム開発、コンテンツ構築を実施
 - コンテンツの収集(紀要論文、博士論文、データ等)
 - コミュニティの創出支援
 - 機関リポジリアウトプット評価システムの構築
- **国立大学図書館協会賞を受賞(H18.3)**
- 利活用のための方策
 - エルゼビア社の学術情報検索エンジンScirusと提携(H18.4)
 - 環境リモートセンシングセンター研究衛星画像データセットとの統合検索(CUWiC)実験(H21.3)

平成25年度
(2013)

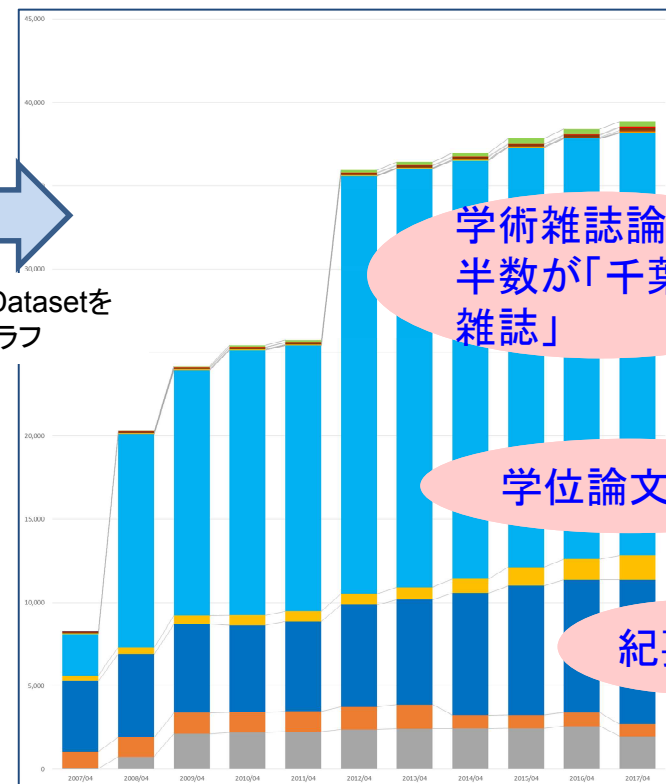
- 学位論文の登録促進について、大学院教育委員会で承認(H21.2)
- **学位規則改正**、博士論文の組織的な登録を開始(H25.4)

コンテンツ登録の状況

千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR 資源タイプ別グラフ



Data or Datasetを
除いたグラフ



- 「萩庭さく葉標本データ」5万件の登録(H24.3)
- 「千葉医学会誌」2万6千件の登録(H24.3)
- セルフアーカイブは少ない
- 紀要論文等の出版物の発信が中心
- 学位論文はH25以降、着実に増加
- 教育マテリアル(授業資料ナビゲータ)登録

機関リポジトリとは

オープンアクセスとは: BOAI (2002) の定義

- 査読された雑誌論文が、インターネット上で無料で利用でき、すべての利用者に閲覧、ダウンロード、コピー、配布、検索、フルテキストへのリンク、インデキシングのためのクロール、ソフトウェアへのデータとして取り込み、その他合法的な目的での利用が、財政的、法的、技術的障壁なしにできること。
- 方法として、**グリーンロード(セルフアーカイビング)**とゴールドロード(オープンアクセスジャーナル)がある
- BOAI <http://www.budapestopenaccessinitiative.org/read>

機関リポジトリとは: クリフォード・リンチの定義

- 「大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの**構成員に提供する一連のサービス**」
- Lynch, C. "Institutional Repositories : Essential Infrastructure for Scholarship in the Digital Age." ARL, 226, February 2003, p.1-7.
<http://old.arl.org/resources/pubs/br/br226/br226ir.shtml>

機関リポジトリの役割(初期)

- オープンアクセス
 - 学術雑誌論文へのアクセスの保証
 - 電子ジャーナル問題の解決策としてのグリーンOA
- アカウンタビリティ
 - 研究発信力の強化
 - 紀要雑誌の出版・発信
 - 学位論文公開の義務化
 - 大学の情報公開
- 図書館の文脈
 - 読者サービスから著者サービスへ
 - デジタルアーカイブの受皿

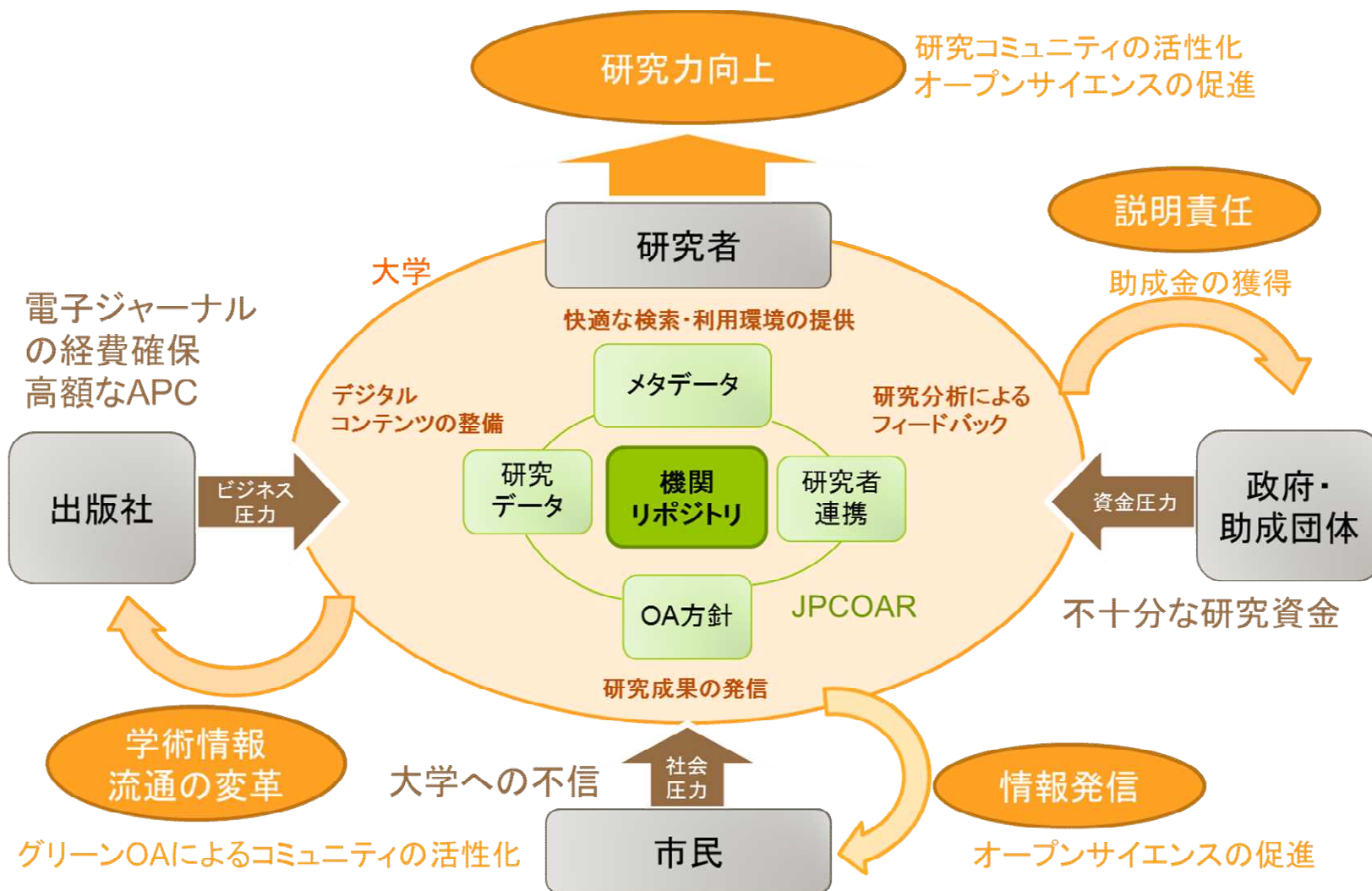
大学をめぐる状況の変化

- オープンアクセス
 - ゴールドOAジャーナルの登場。電子ジャーナルに加えて、新たな経費負担
 - 論文のオープンアクセスから研究データのオープン化へ
- アカウンタビリティ
 - 研究発信力強化に加えて、研究成果の分析
 - 大学としてのポリシーの明示
 - 大学の機能強化の文脈に沿った財源確保
- 図書館の文脈
 - 図書館機能の変容
 - 学術情報流通環境の変容
 - 人員の減少に伴う業務の効率化

機関リポジトリの役割(これから)

- オープンアクセス
 - 学術雑誌論文へのアクセスの保証 (EJ+GreenOA+GoldOA対応)
 - 研究データの共有と公開
- アカウンタビリティ
 - 研究発信力の強化 (紀要雑誌出版、学位論文公開)
 - 研究成果の分析
 - 大学の情報公開・ポリシーの明確化
- 図書館の文脈
 - デジタルアーカイブ・デジタルヒューマニティーズ
 - 検索・利用環境の整備
 - 効率的な運営 (業務フローの改善、コミュニティ形成)

機関リポジトリをめぐる学内外の動向



近年の取り組み

平成26年度
(2014)

- ジャパン・リンク・センター(JaLC)研究データへのDOI登録実験プロジェクトへの参画

平成27年度
(2015)

- 千葉大学オープンアクセス方針の制定(H28.3)

平成28年度
(2016)

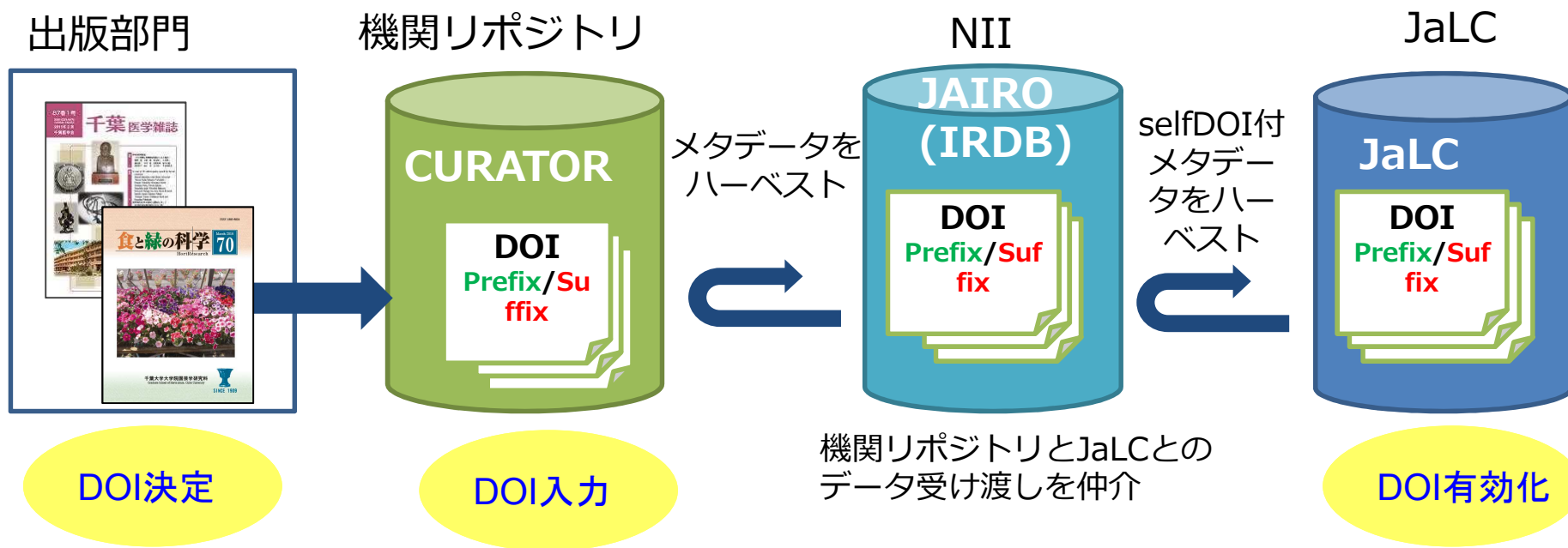
- CHOR-JST試行プロジェクトへの参加
- 『千葉医学雑誌』『食と緑の科学』『国際教養学研究』にDOI(デジタルオブジェクト識別子)の付与開始
- 研究データ利活用協議会への参加
- オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)への参加
 - 運営委員(メタデータ普及タスクフォース、論文OAタスクフォース)
 - 作業部会員(研究データタスクフォース)
- 国立大学図書館協会オープンアクセス委員会に委員派遣



平成28年度
システムリプレイス

DOIの登録

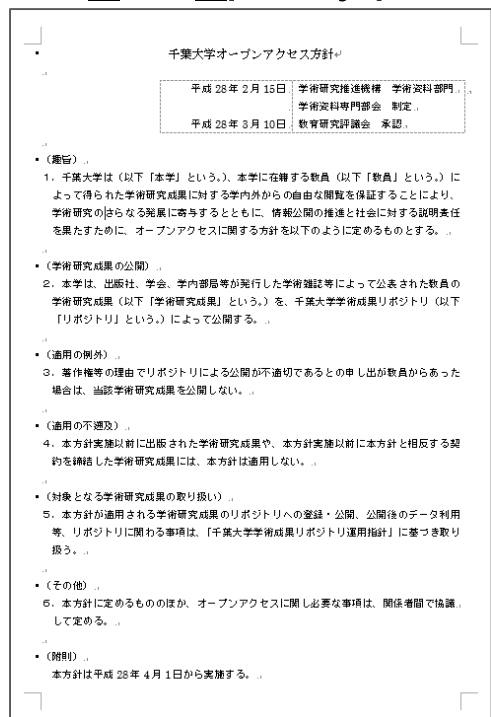
- DOI(Digital Object Identifier)とは
 - 電子的なコンテンツに付与される国際的な識別子
 - 永続的にデジタル資料を一意に示す(リンク切れ防止)
 - JaLCの準会員になると機関リポジトリのコンテンツにDOI登録可能
- 『千葉医学雑誌』『食と緑の科学』『国際教養学研究』にDOIを登録開始



千葉大学オープンアクセス方針の策定

• 平成28年3月制定

- http://www.LL.chiba-u.jp/curator/about/doc/Chiba_Univ_OA_policy.pdf



情報提供

JPCOARの活動

(論文OAタスクフォース)

- 「オープンアクセス方針策定ガイド」の作成
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000021/>
- オープンアクセス方針策定機関のリンク集
 - https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page_id=53

JPCOARへの参加

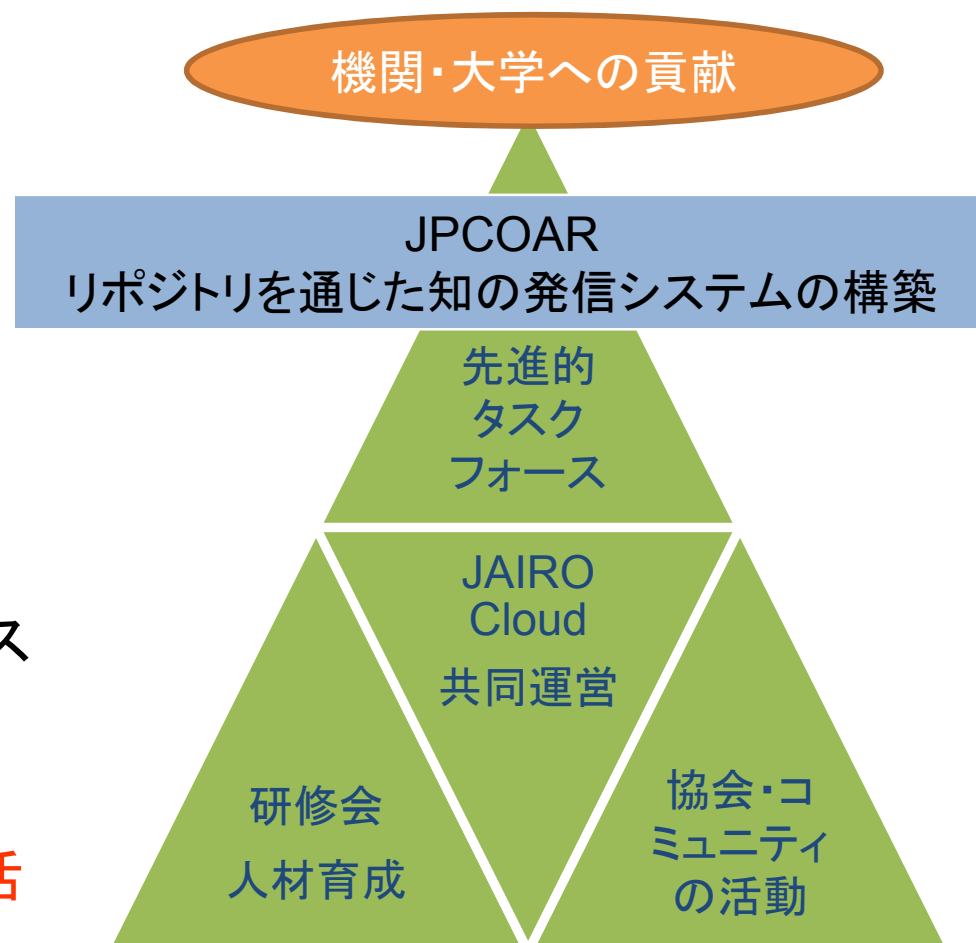
・目的

- ・ 情報共有により、本学の課題を解決
- ・ 活動を通じた人材育成
- ・ コミュニティへの貢献

・活動への参画

- ・ 運営委員会
- ・ メタデータ普及タスクフォース
- ・ OA方針普及タスクフォース
- ・ 研究データタスクフォース

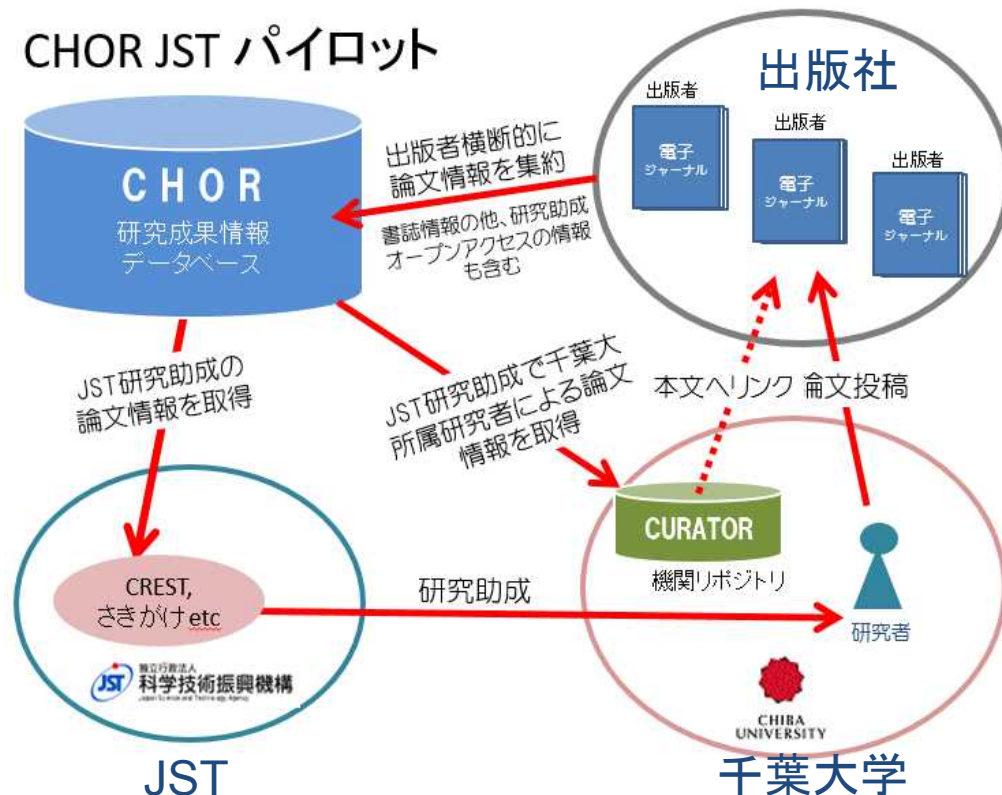
本学の課題解決につながる活動を中心に積極的に参加



ヒト＝人材 モノ＝システム カネ＝会費

CHOR-JST試行プロジェクト

- CHOR (Clearinghouse for the Open Research)
 - 米国政府から助成を受けた研究成果のデータベースを提供。
 - 商業学術出版社・学協会出版部が参加。
- プロジェクト試行期間: 2016.9～2017.5
- 目的: 研究者に負担をかけない業務モデルの実験
- 結果: 登録件数16件
- 評価:
 - 当面のOAを進める方策
 - 本文コンテンツの確保が容易になるわけではない
 - 業務フローの再検討が必要
 - メタデータに課題
 - JST助成論文のカバー率が低い
 - 短期間であったため、さらなる試行が必要か？



千葉大学の今後の課題

- オープンアクセス
 - 論文オープンアクセスの拡大 (CHOR-JSTプロジェクトの継続)
 - 研究データの整備 (既存データの再活用)
- アカウンタビリティ
 - 紀要雑誌出版、学位論文の着実な捕捉
 - オープンアクセス方針の実効化
- 図書館の文脈
 - デジタル・スカラーシップの開発 (識別子の拡充・利用環境の整備)
 - コミュニティへの貢献